



# SOCCEER



W杯直前

## パネルディスカッション



日本サッカー協会会長  
田嶋幸三氏



元サッカー日本代表監督  
FC今治代表取締役会長  
岡田武史氏



東京藝術大学学長  
日比野克彦氏

## 地域とサッカー、サッカーとアート、アートとサッカーと天草 ～いろんな事がつながっていく in AMAKUSA～

今回のパネリストの方々はサッカー、そしてアートのスペシャリスト、まさに、経験の巨人です。  
そして地域や社会、大きく言えばこの国の現状に対して自分がやるべき事に本気で取り組んでいる方々です。  
人生を懸けて本気で何かを成し遂げようとする人達の本気のお話、是非お聴き下さい。



日本全国をまわり応援熱を高めている  
日本サッカー代表オフィシャルバス  
「JFA's DREAM」が会場にやってきます！



11/3 祝木

- 天草市民センターホール
- 開場 17:00 / 開演 18:00
- 前売り券 2,000 円 ※高校生以下は無料ですが入場整理券が必要となります。

入場整理券のお求め先

丸尾焼(天草市北原町 3-10 ☎0969-23-9522)  
天草市役所 産業政策課(天草市東浜町 8-1 ☎0969-32-6786)

お問い合わせ 天草陶磁器の島づくり協議会事務局(天草市役所 産業政策課内)  
〒863-8631 熊本県天草市東浜町 8-1 ☎0969-32-6786



## in AMAKUSA

「MATCH FLAG PROJECT」とは、日本と対戦する双方の国 / 地域のことを思い描きながら、両チームの選手たちがピッチ上で会い交えるように二つのナショナルフラッグを一枚の布の上で一つにしてサポーターの試合当日への想いをかたちにしていくプロジェクトです。サッカーは、国・地域の思考性、身体性が最も反映されるスポーツであり、サッカーは、地域文化の身体表現でもあります。「MATCH FLAG PROJECT」は文化芸術の面からのサッカーとのふれあいの場を創造し、より魅力あるサッカー文化の形成を目指します。



ワークショップアーティスト

**日比野克彦氏**

東京藝術大学学長

11/ **3祝木**・**4金**

■天草市民センター特設会場

■13:00～

MATCH FLAG PROJECT は世界各地で展開され、フラッグの制作を通して、ワークショップ参加者の想いは世界各地に広がっていきました。これまでフラッグは、縫いや染めの技法を用いて制作してきましたが、今回のワークショップでは、手縫いのフラッグを制作します。



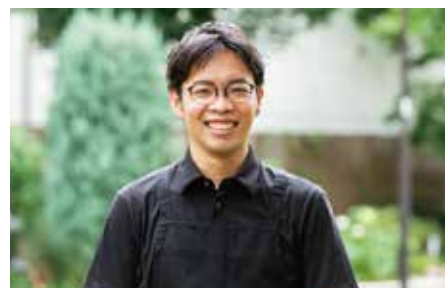
## WORLD PEOPLE CUP in AMAKUSA

協力：アジア代表日本実行委員会

アジアの国々をイメージ・テーマとした CUP(器)＝「想いが宿るモノ」を、ここ天草の磁器土で制作します。人は「心が入っている器」と捉え、CUP(器)を「想いが宿るモノ」とし、ワールドカップアジア最終予選に参加した 46 各国が、自国の文化を携えて世界に向かう気持ちを、優勝杯という形で表現していきます。

また、このワークショップは「アジア代表日本 2022」において歩み出したものであり、8 月 1 日から 9 月 4 日まで太宰府市で開催され、参加者それぞれの想いが込められた 623 個の CUP が制作されました。

アジア代表日本 Instagram



ワークショップアーティスト

**布下翔暮氏**

東京藝術大学 非常勤講師 / アーティスト

11/ **3祝木**・**4金** **WORLD PEOPLE CUP**

■天草市民センター特設会場

■10:00～16:00

ワールドカップアジア最終予選に参加した国々の文化にまつわる資料をもとに、各国の優勝杯をイメージし、天草の磁器土を素材として形を整えていきます。ここ天草の地で、天草の地面の下にある磁器土で制作された「想いが宿った CUP(器)」は、天草の地面の上で野焼きによって焼き上げます。



11/ **5土**・**6日** **記念** ～陶片を漆で継いで、世界に1つの優勝杯を作ろう～

■天草市民センター展示ホール

■10:00～16:00

「アジア代表日本 2022」(福岡 / 太宰府) のワークショップで制作された 623 個の CUP(器)が、太宰府市の方々により野焼きされました。炎の中でいくつかの作品は割れてしまいましたが、割れた小さな破片も制作者の「想いが宿るモノ」とし、このワークショップにてそれらの破片を漆で繋ぎ合わせ、世界に 1 つしかない優勝杯を制作します。



助成：東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト